

アカスジカスミカメによる斑点米形成時期は長期に及ぶ！

【1 成果概要】

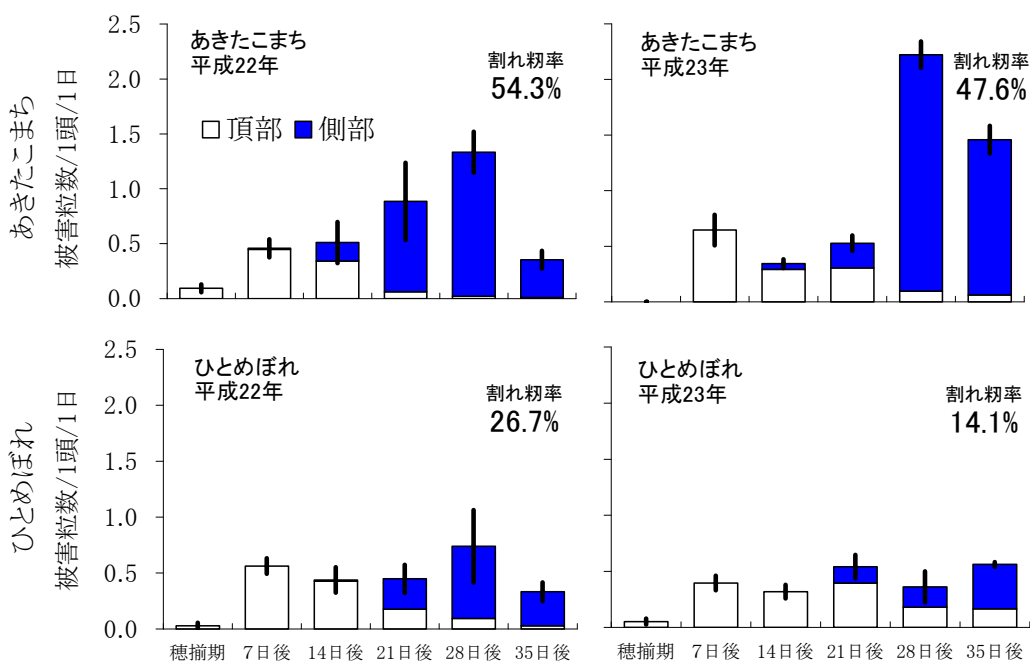
- アカスジカスミカメ成虫(図1)による斑点米(図2)形成時期は、穂揃期7日後より穂揃期35日後まで長期に及びます。このため、穂揃期7日後以降は水田内のアカスジカスミカメ密度を長期にわたり低く維持する必要があります(図3)。
- このため、水稻出穂期以降のアカスジカスミカメ密度を低く抑える防除対策に向けた試験に現在取り組んでいます。



図1 アカスジカスミカメ成虫



図2 斑点米(左:頂部加害、右:側部加害)



放飼時期(穂揃後日数:3日間放飼)

図3. アカスジカスミカメ成虫の放飼時期別の斑点米被害粒数(平成22・23年)
(精玄米調査(>1.9mm)。図中のゴシック文字は平均割れ率、バーは標準誤差を示す)

【2 留意事項】

- (1) 試験データは平成22・23年に農業研究センター水田圃場で「あきたこまち」、「ひとめぼれ」を栽培し、穂揃期以降1週間毎にアカスジカスミカメ成虫(図2)の雌雄各4頭(計8頭)を3日間放飼したものです。
- (2) 「割れ粳」については、肉眼で少しでも割れが確認された粳を計数しております。